

# 新型コロナウイルス感染症について ver. 5

R2/3/22 院長

## ★クラスター、オーバーシュートって何？

コロナウイルス感染のニュース等でよく耳にするクラスターとは、患者集団の意味で使用され、オーバーシュートとは爆発的患者急増の意味で使用されています、

## ★感染力は？ 721万人 vs 884人

一人の患者から何人に感染させるかの指標があります。身近なインフルエンザで1.4~4人で、麻疹12~18人、風疹6~7人です。COVID 19は今のところ1.4~2.5人と考えられており、インフルエンザと同等かあるいは低い数字です。麻疹や風疹よりも全然少ない数字です。感染力に関しては特に強いという証拠はありません。

季節性インフルエンザは通常日本人の約1000万人以上が罹患します。ちなみに今年のインフルエンザ罹患患者数は3/13時点で約721万人です。ではCOVID 19はどうかというと1/15に国内第一例が確定してから約2ヶ月が経過し3/21時点でCOVID 19感染者は国内で884人（クルーズ船は除く）程度です。イタリアやフランス等でも患者数が急増していますがインフルエンザ患者数よりはるかに少ないのです。ただし、インフルエンザは迅速検査がありますが、COVID 19は今のところクリニック等で可能な迅速検査は国内にはなく検査の対象をある程度制限しているため日本の患者数はおそらくかなり過小評価されていることは考慮する必要があります。中国、韓国、イタリアと比べ検査数が圧倒的に少ないのです。今後も患者数は増えていきますが果たしてインフルエンザ並みの流行になるとは思えません。

## ★死亡数は？ 2000~3000人 vs 35人

右の表1は厚労省の発表しているインフルエンザによる死亡者数・死亡率の値です。年間数千人の方がインフルエンザにて亡くなっています。2019年1月だけで1685人がインフルエンザで亡くなっており、

	H30年	H29年
死亡数(人)	3323	2569
死亡率(人口10万対)	2.7	2.1

表1 インフルエンザによる死亡者数

1日平均で死者54人となります。また米国では、今シーズンすでに1万人以上の方がインフルエンザで亡くなっています。3/21時点で国内発生例のCOVID 19での死亡数は35人だけです。今後の推移を注意深く見守る必要はありますが、絶対数ではかなりの違いがあります。死亡率〇%と報道で出ますが、検査をどれだけしたかで数字はかなり変動しますので現時点での評価は困難です。ただ死亡数の多い武漢やイタリアに共通していることはオーバーシュートが起き、少ない医療機関に患者が集中し医療崩壊を招いたことです。

## ★3/21時点でのまとめ

感染力はインフルエンザと比較して同等くらいですが、死亡率はCOVID 19の方がやや高めです。COVID-19は無症状でも肺炎を発症し、感染力があるので厄介です。ただ80%以上は軽症いわゆるかぜで終わりますので心配しすぎる必要はありません。新型コロナウイルス感染を疑わせるような風邪症状の方は実は今年の11、12月の方が多かった印象です。(日本では既に流行のピークは過ぎていた?)最近では普通の風邪や溶連菌性咽頭炎などが多くコロナっぽい方はほとんどいないのが現状です。今後の推移を冷静に見守っていきましょう。

“ものを怖がらなさ過ぎたり、怖がりすぎたりするのはやさしいが、  
正当に怖がることはなかなか難しい “

寺田寅彦